



# 徳島赤十字病院 初期臨床研修プログラム 2026



〒773-8502 徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番  
TEL : 0885-32-2555 FAX : 0885-32-6350  
E-mail : kensyui3@tokushima-med.jrc.or.jp  
<https://www.tokushima-med.jrc.or.jp>

[Instagramでチェック](#)

## 病院見学

随時見学を受け付けています。  
病院ホームページより希望の日時と希望診療科をご連絡下さい。

当院WEBサイトの「研修医」ページをご覧ください。



Japanese  
Red Cross  
Tokushima

# MESSAGE



研修管理委員長

## 院長 後藤 哲也

徳島赤十字病院の研修プログラムは、研修医のニーズに応じて毎年進化し続けています。例えば、当院の全身麻酔の手術数（100床あたり）は常に全国のTop10にランクされており、外科系の研修は非常に充実していますが、夜間の緊急手術も多く外科ローテイト中のオンコールが負担に感じられるケースもありました。そこで、外科のローテーションに複数の選択肢を用意し、ガッツリ研修したい場合は、心臓血管外科（血管内治療を含む）・整形外科・脳神経外科など、そして、外来も含めてじっくり専門的な研修を体験したい場合は、乳腺外科や泌尿器科・眼科・頭頸部外科などを組み入れるアレンジが可能です。また、内科系の研修においては、腎臓内科（透析も含む）、脳神経内科（主としてstroke neurology）などを必修である内科のローテイト期間内に回ることができます。救急科は、当院の高度救命救急センターとICU/救命救急病棟を研修の場として、多職種参加のウォーキングカンファレンスや毎日の振り返り・フィードバックで実践力をつけることができます。2025年度は救急科専門医として当院生え抜きの医師が県外の高度外傷センターから帰ってきてくれるなど、新たなスタッフを迎えてさらに充実したものになります。選択科目では、心エコー・内視鏡などの手技に特化した研修や、病理、臨床検査医学、災害医療救護などユニークな科目を自由に選択することができます。

当院は病床数405床とコンパクトな総合病院ですので、各診療科の垣根が低くコンサルテーションが容易であり、また、看護師をはじめ全てのメディカルスタッフの士気が高く非常に仕事がやりやすいことが特徴です。一方、病床稼働率が高く、平均在院日数も8.6日と非常に短いことから、600床以上の病院に匹敵する新入院患者数がありますので、先輩方の屋根瓦に守られながら数多くの症例を経験できます。また、忙しい中にもゆったりとしたご自分の時間を確保できるような心配りも忘れていません。このように当院の研修プログラムは、すべて研修医を第一に考えられています。皆さんが、医師そして人間として成長していくための場として、徳島赤十字病院の研修を選んで下さることを願っております。

徳島赤十字病院は、徳島県全体の急性期救急医療の中核を担う病院として、2次救急はもちろん3次救急まで対応しています。そのため、ウォークインの軽症疾患から処置や緊急手術を必要とする重症疾患まで、幅広く経験することができます。研修プログラムは指導医のアドバイスや研修医の要望を取り入れて、多くの科を選択できるようにしており、研修の時期や研修科の変更などにも随時対応しています。

地域医療も多くの施設と連携しており、自分が希望する施設での研修が可能なほか、県外の赤十字病院との連携で呼吸器内科や脳神経外科、感染症などの研修も選択できます。

また、私たちの病院では「働きやすさ」や「仕事とプライベートの両立」にも力を入れています。働き方改革を積極的に取り入れ、健康的に働ける環境です。夜間当番（以前の夜間当直）の日は、その日の日勤と当番翌日は休日となります。それに加え4週間以上の研修がある科では、1日の休暇も取得可能です。研修医の皆さんにはオンオフをしっかりと区別して、ご自身のプライベートも充実させていただきたいと考えています。病院行事としても、スポーツサークルを通じて職員同士の交流を広げると共に、サマーパーティー、研修医同窓会、阿波踊りや忘年会と楽しめる催しが沢山あります。

充実した研修を行い、仲間や上司、他の職員との交流を図りながら楽しい初期研修を行っていただきたいと思います。そのために全職員で研修医をサポートしていきます。ぜひ当院で、医師のスタートを切ってください。



プログラム責任者

## 副院長 別宮 史朗

## 病院概要

### 私たちは断らない医療を実践し、みなさまの健康と尊厳をお守りします。

#### 基本方針

1. いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先し、病める人々とそのご家族の健康と尊厳をお守りします。
1. 医療安全を第一に、質の高い先進医療を提供します。
1. 高い専門性を希求しながらも、救急医療を原点としてとらえ、すべての患者さんを受入れます。
1. 地域の医療ネットワークを生かし、互いの力を結集し、安心して暮らせる社会づくりに貢献します。
1. 赤十字としての自主性を保ちながら、国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。
1. 教育研修を推進し、将来を担う人間性豊かな医療人を育成します。
1. 相互扶助を組織の文化として、人にやさしく働きがいのある病院を目指します。

これらの品質方針に適合した病院運営を行う為に、品質マネジメントシステムの有効性を検証し、継続的に改善していきます。

#### 研修理念

徳島赤十字病院は医師としての人格を涵養し医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ将来専門とする分野にかかわらず幅広い臨床能力（知識・技術・態度・総合判断力等）を身につけ、チーム医療の一員としてその役割を理解しチームメンバーと協力しながら全人的態度で医療を提供できる医師を全職員で守り育てます。

#### 2023年度実績

新入院患者数（1日あたり）	38.1人
在院患者数（1日あたり）	326.0人
平均在院日数	8.6日
病床稼働率	89.9%
外来患者数（1日あたり）	726.6人
新患者数（1日あたり）	108.3人
初診の紹介率	87.2%
救急患者数	15,159人 （うち、救急搬送5,263人）
手術件数（手術室稼働件数）	5,924件 （入院5,154件、外来770件）

#### 特殊機能

基幹型臨床研修指定病院  
地域医療支援病院  
高度救命救急センター  
地域がん診療連携拠点病院  
地域災害医療センター  
地域周産期母子医療センター  
へき地医療拠点病院  
臓器提供施設  
小児救急医療拠点病院  
新型コロナウイルス感染症重点医療機関  
紹介受診重点医療機関

#### 病床数

一般405床（うちICU12床、救命20床、無菌17床）

#### 職員数

1,140名（パート含む）

#### 標榜診療科

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、精神科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科

#### 主な医療設備

手術支援ロボット、ハイブリッド手術室、PET-CT、ADCT（320列）、MDCT（64列）、MRI（3.0T、1.5T）、DSCT（128列）、アンギオ装置（バイブレイン）5台、放射線治療装置（リニアック）、SPECT-CT装置など

# プログラムの概要

救命救急医療および地域医療支援の特殊機能を活かし、多くの急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える能力を習得します。



- 内科 ※1** 24週間：内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科  
4週間：上記に加えて呼吸器内科、腎臓内科（透析）、脳神経内科から選択
- 外科 ※2** 8週間：外科  
4週間：外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科から選択
- 選択科 ※3** 内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科(透析)、脳神経内科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、小児科、形成外科、小児外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科、検査部

## ■プログラム例

1年次	24週					
	内科					
	8週	12週	4週	4週		
	外科	救急	内科(選択)	外科(選択)		

2年次	進路希望 内科 (循環器内科)	4週	4週	4週	選択科 4週	4週	選択科 4週
		血液内科	産婦人科	精神科	放射線科	地域医療	院外連携施設 (選択科)
		4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週
	進路希望 外科	小児科	検査部(心エコー)	心臓血管外科	循環器内科	循環器内科	循環器内科
		4週	選択科 4週	4週	4週	4週	4週
		救急科	心臓血管外科	地域医療	小児科	精神科	産婦人科
	進路希望 産婦人科	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週
		院外連携施設 (選択科)	泌尿器科	救急科	外科	外科	外科
		4週	4週	4週	4週	4週	選択科 4週
	糖尿病・内分泌内科	産婦人科	小児科	精神科	地域医療	産婦人科	
	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	選択科 4週	
	皮膚科	放射線科	院外連携施設 (選択科)	麻酔科	産婦人科	産婦人科	

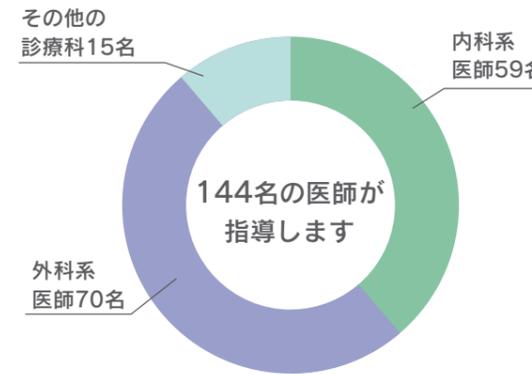
※他にも将来の志望科に合わせて自由なプログラムを作ることが出来ます。

協力施設	地域医療	碩心館病院、ホウエツ病院、近藤内科病院、江藤病院、木頭診療所、上那賀病院、勝浦病院、海南病院、美波病院、小松島金磯病院
	精神科	城南病院、藍里病院、TAOKAこころの医療センター、徳島大学病院（精神科）
	地域保健	徳島保健所、吉野川保健所、阿南保健所
	選択科	旭川赤十字病院（脳神経外科）、大阪赤十字病院（呼吸器内科）、武蔵野赤十字病院（感染症科）、松山赤十字病院（消化器内科）、高松赤十字病院（呼吸器内科）、徳島大学病院（呼吸器・膠原病内科、消化器内科、血液・内分泌代謝内科）、川島病院（腎臓内科）、亀井病院（緩和医療）、小松島天満クリニック（内科）、博愛記念病院（内科）、小松島病院（内科）、徳島赤十字ひのみね医療療育センター（小児科）

# 教育体制

## 01 充実した指導体制

当院では、common diseaseを中心として、多岐にわたる疾患を経験することができます。それぞれの科に指導医も多く在籍しているため、各科をバランスよく学ぶことができます。また、屋根瓦方針を基本にマンツーマン要素を取り入れており、若手医師の層も厚くコンサルトしやすい環境です。



- ★プログラム責任者講習会修了者数 6名
  - ★指導医数 113名  
(7年以上の臨床経験を持つ医師)
  - うち臨床研修指導医養成講習会修了者数 81名
- 2024年4月1日現在

## 02 県内トップクラスの手術件数、最新の医療技術

総手術件数や全身麻酔件数は徳島県でトップクラスの件数を誇ります。また、四国初となる経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）をはじめとした最先端の医療技術を推進しています。

- 総手術件数 5,924 件
- 全身麻酔件数 4,155 件
- 消化管内視鏡検査・手術等 9,581 件
- 心臓カテーテル検査・治療等 3,272 件

## 03 ER研修

当院は、高度救命救急センターでありながら、県内の救急患者を1次から3次まですべてに対応します。そのため内科系・外科系を問わず、数多くの症例を経験でき、実践力を身につけながら着実にレベルアップを図ることができます。ドクターカーは、平日9～17時で運行しており、希望があれば同乗し、病院前救急診療の研修も経験できます。

- 救急搬送受入件数 5,263 件
- ドクターカー出動件数 427 件
- ドクターヘリ受入件数 100 件

## ■ スキルラボ・シミュレーション教育が充実

シミュレーターなどを用いて医療技術の習得を図るための施設「スキルラボ」が、24時間いつでも使用できます。救命救急処置並びに外科的処置など様々なトレーニングを行うことが可能、ICLS, ACLS, BLSなども行われます。



- 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター
- 内視鏡外科手術用トレーニングボックス
- CVC穿刺挿入シミュレーター
- マイクロ手術練習用実体顕微鏡
- 関節鏡視下手術シミュレーター(肩・膝)
- 超音波診断装置 等があります。

# 研修医参加の研修会や勉強会

研修医対象の勉強会が多数あり、病院の職員全体で研修医の教育を行っています。各診療科の指導医による**コアレクチャー**や、災害時に的確なトリアージを行うための**トリアージ研修会**、研修医が企画・実施する**レジ勉**など多彩な研修会があります。また、ICLS、ACLS、BLS、緩和ケア研修は受講必須となっており、受講料も病院が負担します。なお、月に1回、各診療科部長や上級医と研修医が研修内容について話し合う研修医・指導医連絡会を開催し、研修医から要望があれば適宜研修内容の見直しを行います。研修期間が充実したものになるよう専従の事務スタッフがサポートし、より良い研修を目指します。



研修医セミナー 11回/年



外傷セミナー 1回/年



CPC・RCPC 11回/年



細隙灯顕微鏡講習会 1回/年



内科マンスリーセミナー 12回/年



人工呼吸器セミナー 1回/年



皮膚縫合研修 3回/年



腰椎穿刺ハンズオン 1回/年



中心静脈穿刺講習会 1回/年

## 専攻医 VOICE



内科専攻医 1年目  
渡部 裕貴

私は愛媛県で育ち愛媛大学を卒業しましたが、初期研修を当院で行い、引き続き循環器サブスペシャリティ重点型コース内科専攻医として診療にあたっています。なぜ愛媛県出身の私が徳島県へ来たかという、学生時代県内外多くの病院を見学した中で、当院の研修医が最も活気・やる気があり充実した研修をしていると感じたからです。研修医向けの勉強会も多く開催しており、各科の先生方も熱心に指導してください。ミスをしたことや上級医から指導を受ける場面も多く、決して楽な研修医生活だとは言えませんが、当院で研修したことで医師としての強い基盤をつくることができたと自負しています。若手の医師が多く各診療科の垣根が低いこと、研修医だけの医局があることも当院の特徴です。当院は医師人生のスタートを切るのに最適な研修病院だと思います。徳島県内だけでなく、県外出身の学生さんにもぜひ来ていただきたいです。皆さんと一緒に働けることを期待しています。

# 研修医の一日

## 救急科

ドクターカーによる病院前救急診療、救急外来(ER)での初期診療、ICUや救命救急センターでの重症患者診療、一般病棟での入院患者診療などを行う。

## 循環器内科

心不全、虚血性心疾患、不整脈、末梢血管疾患の診療に加えて、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)、経皮的左心耳閉鎖術(WATCHMAN)、経皮的補助人工心臓(IMPELLA)など最新の医療機器による治療も経験できる。

### 病棟回診

8:00

病棟回診、チーム内カンファレンス

### 医師全体ミーティング

8:40

医師全体ミーティング



### ドクターカー、救急科カンファレンス

患者情報を救急科全体で共有

8:50

循環器科カンファレンス、抄読会

### 日替わりで 病棟・ER業務を担当する

9:15

多職種合同カテーテルカンファレンス

### ER当番

救急患者、Walk-in患者対応

病歴、身体診察を重視した診療を行います。一般診療で日常的にエコーを多用するため、エコーのスキルが上達します。



9:30

心臓カテーテル検査・治療



### 病棟当番

ICU、救命救急センター、一般病棟患者管理

重症患者の集中治療：敗血症性ショック、重症外傷、中毒、心停止蘇生後症候群等

多職種カンファレンス：ICU・ERの入院患者について多職種合同でカンファレンス。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、公認心理師、理学療法士等参加

一般病棟管理：Common disease、軽症外傷等

10:00

多い時は1日15件以上の心臓カテーテル検査・治療を行う。研修医もシース挿入やカテーテル手技の補助など積極的に参加する。

### 病棟回診

上級医と共に回診し、身体所見の取り方や画像、検査値の解釈を学んで治療計画を立てる。担当患者に関する連絡はまず研修医が受けるため、病棟での対応力が身に付く。

### 救急科医師からのフィードバック

17:00

ERでの診療や、病棟管理での疑問点について指導医からフィードバックを受ける。その日の疑問はその日に解決！



### ER対応

急患の初期対応や緊急カテーテル検査など。時間があるときは上級医からのレクチャーや、心エコーの実技研修を行う。

研修会も充実





### 多くの症例を経験し日々成長

研修医1年次 松永 康佑  
(徳島大学卒)

当院は徳島県の3次救急の要であり、日々たくさんの患者さんと向き合っています。全身麻酔の手術件数や心臓カテーテル検査・治療数が非常に多いところも当院の魅力の1つです。多様な救急症例のファーストタッチは研修医が行える上に、上級医の丁寧なフィードバックもあるため程よい緊張感の中で成長できます。また病院主催の行事もたくさんあるため、職の垣根を越えて何でも相談しやすい雰囲気です。ぜひ見学にいらしてください。



### 温かい雰囲気の病院

研修医1年次 伊丹 運風  
(徳島大学卒)

私が当院での研修を希望した理由の一つは、どの職種の方でもすれ違う際に挨拶を交わされる、温かく丁寧な雰囲気に魅力を感じたからです。挨拶という基本的なコミュニケーションが自然に行われる環境は、研修医同期の間だけでなく他職種間の横の繋がりや先生方との縦のつながりを深め、信頼関係の構築にもつながると考えています。挨拶の飛び交う明るい当院と一緒に研修をしませんか。お待ちしております！

# 年間行事 annual events

### 徳島日赤での初期研修

研修医1年次 松田 大貴  
(徳島大学卒)

僕は香川県出身で大学から徳島にきています。初期研修で徳島に残ることを決めたのは、当院の研修体制や雰囲気に魅力を感じ、ここで研修したいと思ったからです。当院は3次救急まで幅広い疾患を経験することができ、研修医がファーストタッチできるので確実に力がつきます。研修医のための研修会や勉強会が多数行われているのも特徴です。また研修医だけの医局があり、研修医同士の仲が良いのも魅力の一つです。ぜひ見学に来て、当院の雰囲気を感じてください。



### 充実した研修環境

研修医1年次 高岸 日向子  
(徳島大学卒)

私は充実した指導体制と研修医だけの医局に魅力を感じ、当院での初期研修を選びました。特に研修医医局には研修医用のカルテ端末があり、担当患者の診断や治療について時間を気にせずじっくり考えることができます。各自の机の他、仮眠室や休憩スペースもあり充実した研修環境です。2年次の先輩方や同期と毎日顔を合わせ、切磋琢磨しながら仲も深まり賑やかな医局です。ぜひ一度見学にいらしてください。



### 人間性を養う地域医療研修

研修医2年次 川瀬海翔  
(九州大学卒)

当院の地域医療研修では徳島赤十字病院の周辺病院の他、ホウエツ病院や海南病院など様々な地域の病院で研修を行うことができます。私は木頭村にある木頭診療所で研修をさせていただきました。木頭診療所には当院の医師も週1で派遣されており、普段の3次急性期病院とは雰囲気の違うのどかな木頭村で外来診療に携わり、新たな発見の多い日々でした。限られた医療資源の中で行う診療は一見穏やかな反面、多くのことを考えなければならず、総合力の間われるものだと感じました。医師として人として成長させていただいた地域医療研修であったと思います。



4

April

辞令交付式  
研修医・研修看護師合同技術研修  
日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修会



6

June

トリアージ実技研修会  
院内災害医療訓練



7

July

医学部6年生に対する卒後臨床研修説明会  
サマーパーティー  
SUMMER臨床研修説明会



8

August

研修医同窓会  
阿波踊り



9

August

四国地区赤十字病院スポーツ大会

10

October

日本赤十字社医学会総会  
全国赤十字病院スポーツ大会



11

November

病院祭  
本社研修



12

December

忘年会



2

February

徳島大学医学部生に対する  
卒後臨床研修説明会

3

March

研修修了式

# 初期研修医から専攻医へ

## 基幹施設として3領域の研修プログラムを用意しています。

当院は、病院理念である“断らない医療”に基づき、県下で最も多くの重症救急患者を受け入れていますので、症例数が非常に豊富であることは論を俟ちません。さらに、トップクラスの技術と見識を持った指導医が熱心に指導する伝統があり、それを組織がハイブリッド手術室やラピッドレスポンスカーなどの先進医療体制を整備して支えています。私たちは、専攻医の皆さんが充実した研修の時を過ごしていただけるよう、全力でサポートすることを約束します。

### 内科

将来の消化器、循環器、糖尿病、血液等のサブスペシャリティに繋がる一般型コースに加え、当院の特徴を活かした循環器サブスペシャリティ重点型コースがあります。

### 整形外科

『地域医療に貢献できる幅広い知識と視野を持った整形外科医師』を到達目標としており、多くの救急外傷症例の他に、関節外科、スポーツ、脊椎、肩関節の症例を経験豊富な指導医のもと数多く研修できます。

### 救急科

「救急現場・蘇生・集中治療に特化するだけでなく、退院後の患者の生活を見据えて診療・病棟管理ができる救急医」を育成するためのプログラムです。ラピッドレスポンスカーを用いた病院前救急診療、ER診療、各診療科と協力して行う集中治療や一般病棟管理など、入院から退院まで一貫した診療を行います。提携している他県の救命センターで、短期研修を行うことも可能です。

### 修了後の進路

2024年3月 研修修了者		2023年3月 研修修了者		2022年3月 研修修了者	
徳島大学病院	6名	徳島大学病院	4名	徳島大学病院	8名
東海大学医学部付属病院	1名	徳島県立中央病院	1名	静岡県立総合病院	1名
徳島赤十字病院	3名	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	1名	亀田総合病院	1名
		愛媛大学医学部附属病院	1名	徳島赤十字病院	2名
		徳島赤十字病院	5名		
2021年3月 研修修了者		2020年3月 研修修了者		2019年3月 研修修了者	
徳島大学病院	6名	徳島大学病院	6名	徳島大学病院	4名
徳島赤十字病院	3名	産業医科大学病院	1名	大阪府済生会千里病院	1名
		徳島赤十字病院	3名	大阪府済生会野江病院	1名
				徳島赤十字病院	5名

## 指導医 Message

初めの2年間の初期臨床研修は、医師としての基礎を築く大事な期間となります。その大切な2年間に充実したものとするには、まず多くの患者様の診療に関わり学ぶことができるかが大事になってきます。当院の理念として「断らない医療」を掲げており、いわゆるcommon disease を含めた一次救急から三次救急まで県内全域から受け入れており、多くの多岐にわたる症例を経験することが可能です。各診療科ごとの垣根も低く、様々な専門的な知識も学べ、チーム医療で医師以外のスタッフからの指導も充実しています。また診療以外に、学会発表や論文の指導なども積極的に行っています。きっと3年目以降の専門科に進む時に自信に繋がる研修ができるはずですよ。ぜひ私たちと一緒に当院で研修してみませんか。お待ちしております。



消化器内科 副部長  
桑山 泰治

2026年度

## 初期臨床研修医募集要項

募集定員	1年次 12名程度		
身分	研修医(常勤嘱託職員)		
給与	月収	賞与	年収
	1年次 約46万円 2年次 約48万円	約37万円 約86万円	約590万円 約660万円
	※月収に含まれるもの 深夜手当(13時間相当分)、住居手当、時間外手当(30時間相当分)		
勤務時間	交替勤務 日勤:8時40分~17時10分(休憩45分) 夜勤:16時30分~翌日9時(休憩60分)		
休日	土曜日・日曜日・国民の祝日(土・日・祝に勤務した場合は平日に休日を振り替える)、5月1日(日本赤十字社創立記念日)、年末年始(12月29日~1月3日)		
休暇	年次有給休暇 年間24日(夏休み3日含む)、特別有給休暇(結婚・忌引等)		
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険		
福利厚生	健康診断(年2回)、各種予防接種、互助会(レクリエーション、サマーパーティ、忘年会等)、各種クラブ活動:野球、バレーボール、テニス、フットサル、バスケットボール等) 院内保育園、日赤グループ保険、日赤積立年金、学会・研修会等への参加補助有り(規定による)		
修了後の待遇	当院での専攻医を希望する者は選考の上、正規職員として採用します。		
応募資格	2026年3月卒業後医師免許取得予定者		
応募書類	履歴書・個人票(当院HPよりダウンロード) ※都道府県が設定した地域枠の奨学金を受給している場合は、その名称を履歴書に記載してください。 ※封筒に「研修医採用試験応募書類在中」と朱書きしてください。		
応募締切	2025年7月31日(木) 必着		
試験方法	小論文、面接		
試験日	2025年8月22日(金)、または2025年8月26日(火)のいずれか希望日		
合格発表	医師臨床研修マッチング結果に基づきます。		

